

【第10分科会】

聴覚障害のある社会人を対象とした リカレント教育プログラムの実践報告

－時代の潮流に合わせた
DX、D&Iスキルの育成－

○後藤 由紀子（筑波技術大学
障害者高等教育研究支援センター・助教）
連絡先：ygoto@a.tsukuba-tech.ac.jp

河野 純大（筑波技術大学産業技術学部）

はじめに

» 筑波技術大学（本学）とは

筑波技術大学は、日本で唯一の、聴覚・視覚障害者のための高等教育機関です。

社会に貢献できる先駆的な人材を育成することを教育的使命とし、この使命を果たすために幅広い教養と高い専門性を授ける教育を行っております。

学部：**産業技術学部**、**保健科学部**

大学院：技術科学研究科

（産業技術学専攻／保健科学専攻
／情報アクセシビリティ専攻）



はじめに

》》筑波技術大学（本学）とは



2025年度
設置予定

※設置構想中

共生社会創成学部

障害社会学及び情報科学を組み合わせ、
多様な人々が能力を発揮できる
共生社会の創成を目指す人材を育成します。

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcements/2023/10/12001074.html>

はじめに

》》筑波技術大学（本学） 開学以来の取組

聴覚・視覚障害のある専門職業人の育成

1989年の開学以来、本学が担ってきた使命

学生へのキャリア支援

就職先企業の開拓、学生と企業のマッチング

卒業生のフォローアップ

企業への障害理解啓発、転職・再就職支援 等

はじめに

» 筑波技術大学 卒業生へのフォローアップ

卒業生のフォローアップ

企業への障害理解啓発、転職・再就職支援 等

- ◆ 個別相談（職場適応、転職、等）
- ◆ 学び直し（出張講座、
オーダーメイド*のプログラム、等）

*プログラム例：

【電子回路の設計技術を学ぶ】

【機械技術者のための CAE を学ぶ】

【建築製図の理解と作図 基礎編】

【仕事に活かせるグラフィックデザイン学を学ぶ】

はじめに

»» リカレント教育に対する社会的ニーズの高まり

「リカレント (recurrent)」とは

「繰り返す」「循環する」という意味で、

リカレント教育とは、学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことです。日本では、仕事を休まず学び直すスタイルもリカレント教育に含まれ、

(中略)

「社会人の学び直し」とも呼ばれます。

はじめに

リカレント教育に対する社会的ニーズの高まり

転職
企業
副業



(中略)

「社会人の学び直し」とも呼ばれます。

はじめに

》》 本学卒業生（聴覚障害）の声 学びの場に

手話通訳・文字通訳等の**情報保障**が必要
要望がうまく伝わらず、

- ➡ 社内研修に**情報保障**が配置されない
- ➡ 専門学校等から受け入れを拒否される

学びたくても学びの機会が得られない
・・・転職、キャリアアップの
機会から遠ざかる

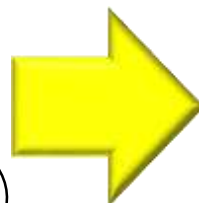


はじめに

》》 聴覚障害者を対象としたリカレント教育



情報保障の整備された
学習環境



はじめに

» 文科省委託によるリカレント教育事業の実施

2021年度

聴覚・視覚障害者のための共生社会実現に向けた
超職業実践力育成事業

聴覚障害者のための**企業等就職志向プログラム**

主な対象：求職中・失業中の者

2022年度

聴覚障害者のための**共生社会実現力**
育成プログラム【DXリスキル】

主な対象：在職中の者

はじめに

» 文科省委託によるリカレント教育事業の実施

2023年度

聴覚障害者のための
DX/D&I促進人材育成プログラム

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/announcements/2023/08/30001050.html>

2種の専門的履修モデル

D&I
推進担当者
など

D&I

DX

DX
推進担当者
など

はじめに

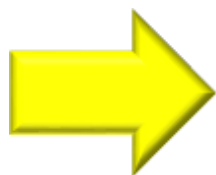
» 文科省委託によるリカレント教育事業の実施
聴覚障害者のための
DX/D&I促進人材育成プログラム

情報保障の整備された学習環境

2種の専門的履修モデル

+

企業担当者と聴覚障害者の交流機会の提供



真の共生社会の実現

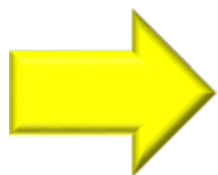
はじめに

» 文科省委託によるリカレント教育事業の実施
聴覚障害者のための
DX/D&I促進人材育成プログラム

情報保障の整備された 共生社会の担い手となる
2種の専門的履修 聴覚障害のある
専門職業人

+

企業担当者と聴覚障害者の交流機会の提供



真の共生社会の実現

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 主な対象者

聴覚障害のある在職者で、

- ◆ 社内で**D&IやDXを推進する立場**にある者
 - ◆ **D&IやDXに関する知識・スキルの習得を望む者**
(目的に応じて、在職中でない者を受け入れることがある)
 - ◆ 受講定員：20名
- ※少数の科目を部分的に受講する場合は定員を超えて受け入れることが可能

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 主な対象者

聴覚障害のある在職者で

◆ 社内でD&IやDX

◆ D&IやDXに関する

(目的に応じて、
ことがある)

◆ 受講定員：20名

※少数の科目を部分的に受講する場合は定員を
超えて受け入れることが可能

当プログラムは筑波技術大学が
指定する**履修証明プログラム**で
あり、**60時間以上**の講義を履修
した受講者は「**履修証明書**」を
受け取ることができる。

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

»» 受講に関する問い合わせ先

筑波技術大学 成長分野における即戦力人材
輩出に向けたリカレント教育推進事業 窓口

E-mail : r3recpro@nc.a.tsukuba-tech.ac.jp

»» 受講申込先（申込先URL）

<https://forms.office.com/r/85m2grQCLy>

※部分的受講のみ受付中
(2023年10月現在)



聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

»» 受講方法

- ◆ 全ての講義をオンライン配信にて行う。
- ◆ リアルタイム配信（平日夜間・休日）による受講を奨励し、授業の双方向性を担保する。
※ やむを得ず欠席した場合も録画配信の視聴と事後課題の提出をもって履修を完了できることとする。

»» 情報保障

- ◆ 全ての講義に**手話通訳**、パソコン入力による**文字通訳**を配置する。

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト（D&Iコース必修科目）全22.5h

分類	講義タイトル	時間
必修	セルフアドボカシー	1.5
必修	職場における交渉演習	3
必修	キャリアマネジメント	3
必修	健聴者と協働するマネジメント	6
必修	聴覚障害者の言語と文化	6
必修	音声認識システム活用演習	3

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト (D)

自身の障害や必要な情報保障等について説明できるようになる

分類		
必修	セルフアドボカシー	1.5
必修	職場における交渉演習	3
必修	キャリアマネジメント	3
必修	健聴者と協働するマネジメント	6
必修	聴	多様なコミュニケーション手段・価値観等を有する他者との協働について学ぶ
必修	音	

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト（DXコース必修科目）全21.0h

分類	講義タイトル	時間
必修	VBA応用演習	6
必修	DXリテラシー	3
必修	RPA応用演習	6
必修	データサイエンス入門	3
必修	デザイン思考演習	3

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト（DXコース必修科目）全21.0h

デザイン思考ファシリテーター2級相当、
Microsoft Power Platform 基礎レベル相当など
のスキルの習得を目的とする

必修	DXリテラシー	3
必修	RPA応用演習	6
必修	データサイエンス入門	3
必修	デザイン思考演習	3

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト（両コース共通科目）全20.0h

分類	講義タイトル	時間
必修	キャリアプランニング	1.5
必修	メンタルヘルスマネジメント	3
必修	グループワーク演習	6
必修	アサーティブ コミュニケーション演習	4.5
必修	クリティカルシンキング	3
必修	コーチング	3

聴覚障
DX/D

一般的なビジネススキルの習得、キャリア形成
に対する意識の醸成等を目的とする

» 講義リスト（両コース共通科目）全20.0h

分類	講義タイトル	時間
必修	キャリアプランニング	1.5
必修	メンタルヘルスマネジメント	3
必修	グループワーク演習	6
必修	アサーティブ コミュニケーション演習	4.5
必修	クリティカルシンキング	3
必修	コーチング	3

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義リスト（自由選択科目）

分類	講義タイトル	時間
自由 選択	VBA基礎演習	3
	RPA基礎演習	3
	TOEIC対策	12
	英文ビジネスメール	6
	応用情報技術者試験対策	6
	ビジネスマネジメント	9

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 講義風景（セルフアドボカシー）

Panopto セルフアドボカシー > 2023年10月4日 セルフアドボカシー

この録画 検索

詳細
ディスカッション
メモ
ブックマーク
表示

5. 職場におけるセルフアドボカシー

セルフアドボカシー（自己権利擁護）

= 自分自身の利益や欲求、意思、権利を自ら主張すること

ポイント

1. 自己の活動制限、参加制約について知る
2. 業務遂行に際して必要な措置を説明し、要望する

自分の意思表示をする前にどのようなポイントがあるかというお話を最後にしていきたいと思います。繰り返しになりますが、今日の大きなテーマであるセルフアドボカシーというのは、自分の権利を守るという大きな意味があって、それは、自分が自分にとって

☆☆☆☆☆

ヘルプ サインアウト

2
個人的にはまだまだです

1
促進法 > 解消法ですか？

1
身体障害者雇用促進法は1960年に設立しています。

1 😊 1

14
PC接続不良により、途中で落ちてしまい申し訳ございませんでした。

2
会社で手話通訳使うとき公的支援使う場合はどうすればいいのでしょうか

1

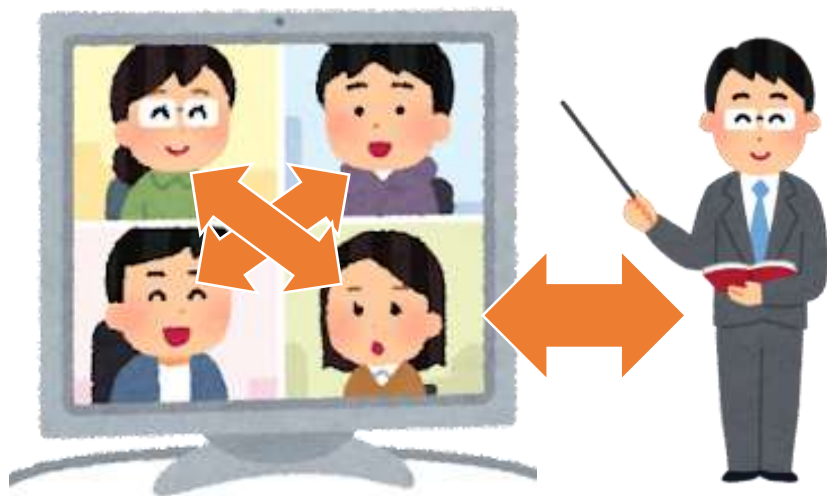
11:00:22

34:19

1x 速度 品質

聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

»» 期待する効果



- ◆ **双方向型**の授業
- ◆ 受講者間の**経験の共有**

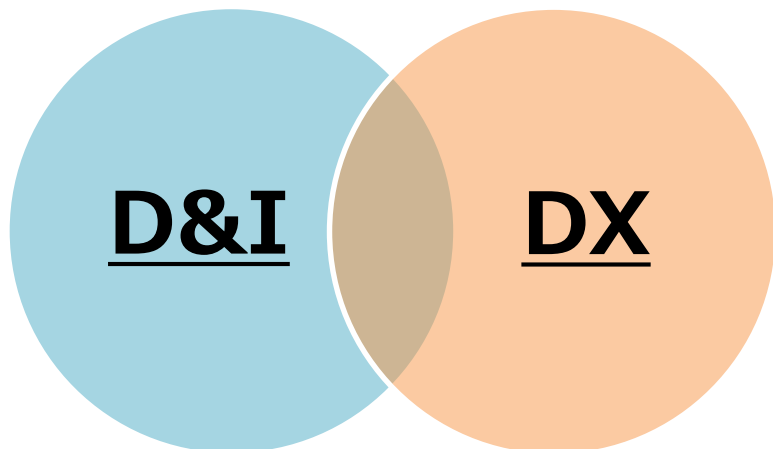


新たな視点への気づき

コース選択可能な
カリキュラム



学習への主体性



聴覚障害者のための DX/D&I促進人材育成プログラム

» 期待する効果



**受講者の
キャリアアップ**

学習への主体性